

基礎看護学臨地実習I

必修

開講年次：1年次後期

科目区分：実習

単 位：1単位

講義時間：45時間

■**科目のねらい**：看護の対象について、観察や対話を通して理解するとともに、看護ケアの実践的方法を見学および一部実施を通して体験的に学ぶ。また、実習を通して看護学生として責任ある行動について理解を深め、自己の課題を見いだし、今後の学修へのモチベーションを高める。

■**到達目標**：①看護の対象となる患者の健康に対する考えや、生活している療養環境を理解する。
②看護師の行動を通して、安全な援助や患者を尊重した態度について理解する。
③看護学生として、責任ある行動の重要性を理解し、実習に適した行動をとる。
④到達目標①～③を通して、自己の学習課題を明確にする。

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎古都 昌子・定廣 和香子・樋之津 淳子・大野 夏代・田中 広美・石引 かすみ・小田嶋 裕輝・柏倉 大作・近藤 圭子・田仲 里江・坂東 奈穂美・檜山 明子・御厩 美登里・大友 舞・中田 亜由美・星 幸江・横川 亜希子

■**授業計画・内容**：

実習施設 市立札幌病院、手稲溪仁会病院

別途配布する「基礎看護学臨地実習I 実習要項」に基づいて、オリエンテーションを行います。

実習に関する変更がある場合は、オリエンテーション時に説明します。

■**教科書**：なし

■**参考文献**：なし

■**成績評価基準と方法**：実習評価表に基づき、到達目標の達成度を評価基準として、下記のように評価します。ただし、2/3以上の出席を満たさない場合は評価の対象となりません。

評価方法	到達目標				評価基準	評価割合 (%)
	①	②	③	④		
実習内容・記録	◎	◎	◎	◎	到達目標の達成度	80
レポート	◎	◎	○	◎		20
出席					2/3以上の出席	欠格条件

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：看護学原論、看護観察技術論、看護初期実習

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：1年次・前期の必修単位をすべて修得していることが望ましいです。看護職としての責任ある行動や態度について考察していただきます。対象や場に応じた挨拶、実習にふさわしい態度や身だしなみ、自己の健康管理に注意して取り組んでください。